

くりやま未来カフェ

あったらいいなをカタチにする ファブラボ栗山って何？

vol.2

コーヒー片手に
栗山の未来を考えよう♪



デジタルものづくり工房として、地域の課題解決の手段として期待される「ファブラボ」。今回はファブラボの最前線的话题を中心に、ファブラボ栗山やものづくりのこれからについてお話しします。コーヒーを飲みながら一緒に考えてみませんか。

12.2 土
13:30~16:30

場所：栗山煉瓦創庫 くりふと
(栗山町中央3丁目154番地1・駐車場18台有)

料金：1,000円 ドリンク、お菓子付き

定員：40名 当日受付も対応します

01 13:35~

キーノートスピーチ
(基調講演)

鎌倉から学ぶファブラボと
地域の可能性

東アジア初となるファブラボ鎌倉
代表の渡辺ゆうかさんをお招きし
最新のファブラボの世界を
お話ししてもらいます

02 14:35~

ブレイクタイム
(休憩時間)



コーヒーなどの
ドリンクサービス有り
ホッとする時間を
お過ごしください♪

03 15:00~

クロストーク

みんなで考える
ファブラボ栗山のつかいかた

ものづくりの有識者やファブラボ
運営者を交え、テーマについて
会場の人々で考える
クロストークを行います

(申し込み方法)

- 1 電話 0123-76-7787 (栗山町ブランド推進課・地域おこし協力隊：望月)
- 2 FAX 0123-76-7782 (申込用紙は裏面にあります)
- 3 ネット申込 <https://forms.gle/QS1ywageSSjqGvnA6>

ネット申込
QRコード



主催：栗山町ブランド推進課 地域おこし協力隊・情報発信プランナー

ゲストスピーカー profile



渡辺 ゆうか (わたなべ ゆうか)

ファブラボ鎌倉代表/一般社団法人 国際STEM学習協会 代表理事/慶應義塾大学SFC研究所 訪問研究員

多摩美術大学卒業後、都市計画、デザイン事務所を経て、2011年5月東アジア初のファブラボの一つである、ファブラボ鎌倉を慶應義塾大学教授の田中浩也氏と共同設立し、現在代表をつとめる。2018年鎌倉市や地域企業と連携しファブシティ宣言をパリで行う。創造社会における市民の行動変容を研究にとどめず、ファブラボ鎌倉の運営を通じて実践している。国内外でのファブラボ立ち上げ支援、中高生を対象とした探究プログラムなど、分野や世代そして地域を横断した学習プログラムを自治体や企業、教育機関等と連携しながら展開している。



曽我 聡起 (そが としおき)

公立千歳科学技術大学情報システム工学科教授 (博士 (工学))

岩手大学工学部卒業後、日立コントロールシステムズ (現・日立産業制御ソリューションズ) 株式会社に入社。専門学校や大学の教職員を経て、北海道大学大学院工学研究科情報工学専攻博士後期課程を単位満期取得退学。後に蘭工業大学大学院工学研究科生産情報システム工学専攻博士後期課程を修了し博士 (工学) を取得した。2016年には栗山町の「ものづくりDIY工房推進協議会」に参画した。最近では「サービス科学」という視点で物事を捉え、モノとコトを一体化して顧客と価値を共創し、製品の魅力を高める研究を行っている。



土山 俊樹 (つちやま としき)

ファブラボ栗山ディレクター/合同会社ジモトファブ代表

網走市生まれ。札幌市立大学デザイン学部卒業後、市内のファブ施設でデジタル工作機械のトレーナーやものづくりワークショップのスタッフとして勤務。2019年、栗山町地域おこし協力隊 (ものづくりDIY工房運営支援員) として採用され、1年間に及ぶファブラボ鎌倉での研修を修了。2021年からファブラボ栗山の立ち上げを目指し活動을続け、2022年10月に北海道では初となるファブラボ国際ネットワークに加盟。協力隊卒業後、合同会社ジモトファブを設立し、栗山町と連携しながら「まちの未来を開拓する担い手育成」をコンセプトにラボ運営を行う。



三木 貴光 (みき たかみつ)

栗山町ブランド推進課主幹

岩見沢市生まれ。地元の高校卒業後、1995年に栗山町に奉職。経営企画課に配属されていた2016年、地方創生関連施策の一つとしてファブ施設導入・活用の調査を進めている中でファブラボ鎌倉と出会い、協力を得ながら栗山町におけるファブラボの開設に向け、地域おこし協力隊制度を活用した運営の担い手づくりやノウハウ構築を進めた。現在は、2023年4月に誕生した活動と交流の拠点施設「栗山煉瓦創庫くりふと」の開設・運営を担当し、ファブラボ栗山ほか観光振興施策とも併せた関係人口づくりに資する事業に携わっている。



モデレーター: 望月 貴文 栗山町地域おこし協力隊・情報発信プランナー

札幌市生まれ。北海道庁に勤めた後、退職と同時に北海道大学公共政策大学院に進学。リカレント教育の最前線で政策学を学ぶ中、自治体の最前線に身を置きたいと考え2021年4月、栗山町に移住。町公式note「くりやまのおと」の起ち上げや、広報くりやまの特集掲載など担当。栗山に溢れる情報(音)を「書き留める・積み重ねる・継ぎ合わせる」ことを目的に、アナログ・デジタル両面から栗山の魅力を表現している。



司会: 西村 さやか(SAyA) 栗山町地域おこし協力隊・情報発信プランナー

札幌市生まれ。2022年に自然豊かな暮らしを求めて栗山町へ移住。音楽家(所属ユニット: 木箱、Rhythmy)としても活動しておりメジャーデビューの経歴もある。町公式Instagram「くりやまのおと」や「くりやまカメラの会」を担当するほか、長年の音楽活動で培ってきた様々な繋がりを生かし、栗山の魅力を発信中。

くりやまのおと



note



Instagram

コーヒーとお菓子の担当



品質だけではなく、産地・農園・品種等生産者の顔が見えるスペシャルティコーヒーを専門に取り扱う「ブナ・タッタ」

@buna.teta.coffee.roasters

くりやま未来カフェ参加申込書 FAX: 0123-76-7782

ふりがな

氏名 (必須)

電話番号 (必須) () —

メールアドレス

@

お住いの地域 (必須): 栗山町・その他 ()

年齢

性別